

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 土屋 敏幸 副会長 波多野 篤志 幹事 伊佐地 司 クラブ会報委員長 後藤 政之

2021~2022 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「みんなで考えよう 未来へ繋ぐために」



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2063回例会 2022年4月28日(木)
卓話 国際ロータリー第2630地区 インターアクト委員会 委員長 布目美智男様
テーマ 「これからのインターアクト」 / 担当 会場監督

前例会の記録 第2062回 2022年4月21日(木)
「C. A 地区研修・協議会報告」
担当：次期会長・次期幹事

*ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱
*会長あいさつ 土屋敏幸会長

皆さん、こんばんは。本日のプログラムは、4月16日土曜日に開催されましたC. A 地区研修・協議会の報告です。伊佐地司さん、波多野好文さん、大藪太さん、ご苦労様ですが宜しくお願いします。



さて、4月13日水曜日に関市民花火大会第1回実行委員会に出席しました。今年は8月13日土曜日(予備日8月15日)19時30分開会式、19時35分打ち上げ開始、20時15分終了の予定で実施するそうです。

観覧スペースについては、協賛者スペースと一般観覧スペースをフェンス等で区切る。協賛者スペースはコーンバー等で仕切り、一口25,000円で1ス

ペース(4人分)を250スペース程確保する。一般観覧スペースは、フリースペースとする。新型コロナウイルス感染症対策については、
○マスク・消毒の徹底 ○身体的距離の確保
○飲食の制限(露店の出店は見送りの方針)
○来場者の把握 ○スタッフの行動管理
○イベント前後の注意喚起
以上の内容で挑むそうです。煙火事業者の選定方法については、岐阜県内の3事業者による指名プロポーザル方式により実施する。(提案15分以内、質疑応答5分以内)

また、4月16日に私も地区研修・協議会に参加しました。私は、地区役員の配属が公共イメージ委員会になったので、そちらの分科会に出席しました。公共イメージ委員会という名称は新しく出来てから4年目の委員会で、2016~2017年度から2年間は「広報・IT部門委員会」、2018~2019年度より「公共イメージ委員会」に名称変更したそうです。メインテーマは、「ロータリーの公共イメージの向上」です。ホームページ、SNS、マスコミ、印

刷物等でクラブの情報発信を積極的にやりなさいとのこと。Facebook、Instagram、YouTube チャンネル等を利用し外部の方への情報発信をしましょうとのことでした。この委員会の活動として

- ① 各クラブに出向き取材活動し、地区のホームページに掲載
- ② 地区のロータリアンの SNS での情報発信のお手伝い

地区の公式 Facebook グループページを作成

私には、何のことやらさっぱりわからなかったです。一番苦手な分野に配属された気がします、仕方がないので、できるだけがんばります。

* 「C. A 地区研修・協議会報告」

伊佐地 司会員

4月16日土曜日に開催されました地区研修・協議会について報告します。私を含め12名で参加しました。13:00から開会セ



ッションが始まり、石井ホストクラブ会長の歓迎の言葉、高橋ガバナーエレクトの挨拶と特別出席者紹介がありました。挨拶の中で会員増強について触れられ、クラブの質の向上が重要で、魅力的なクラブにしていかなければ会員増強は望めない、それにはロータリアンの質を上げること、素晴らしいロータリアンを育てることがクラブの質を上げることになるということをお話され、今回の研修会の重要性を説明されました。

続いて第1セッションが行われ、「次期 RI テーマと地区活動方針」と題して高橋ガバナーエレクトがジェニファー・ジョーンズ次期 RI 会長の紹介とテーマや、次期の地区目標などについて話をされました。

ジェニファー・ジョーンズさんはテレビやラジオの製作や企業の動画作成をする会社の社長で RI 副会長や理事、研修リーダーなどを歴任され、超私の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞されています。ロータリーが発足して今年で117年目になるそうですが、初めての RI 女性会長だそうです。会長テーマは「イマジンロータリー」、イマジンとは未来を描くこと、私たちがベストを尽くせる世界を

想像し、夢を描く、その実現のためにロータリーのつながりと力を生かし行動に移しましょうと、私たちに行動することを呼びかけられました。

国際ロータリーの方針として

1. ロータリーの成長が戦略計画の重要な要素
 2. 最優先事項 ポリオ根絶活動 1900 万人以上の子供を小児麻痺から救った
 3. 最重要事項 会員増強 成長を支えるためには会員増強は重要なテーマ
- を説明されました

ガバナー方針として「ロータリーの心と原点を大切に、描こう明るい未来を」

サブタイトル（ロータリアンの成長が日本のロータリーの未来を創る）と発表され、ロータリーの心とは、「寛容の心を基盤とした友愛と信頼」、2つのモットーである「超私の奉仕」・「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」であり、原点とは「人づくり・真のロータリアンを育てる事」である。理想的なロータリーとは「中核的価値観」を基盤にして「理念と実践」をうまくバランスを図りながら活動していくものであると考えられ、今こそ我々は原点に戻り、共に学び、奉仕の実践を通じて日本のロータリー文化を守っていかなければならないと力説されました。

続いて第2セッションの分科会では、戦略計画分科会に藤村次期会長と森次期幹事と共に参加しました。「国際ロータリーの現状と変化」と題して剣田次期地区研修リーダーの話を拝聴しました。国際ロータリーは2000年を境に大きく変質をした。ロータリーの本質は職業奉仕を根幹とした奉仕の理念を実践することであるはずなのに、RIはボランティア団体に近づいていることを懸念されていました。

RIの現状

RIは「世界的人道的慈善団体」として企業体化しました。陣頭指揮を執るジョヒューコ CEO 事務総長の独断場のようなようです。CEOが悪の根源のような言い方

- ① ロータリーは企業体としてトップダウンの組織でありクラブはそのネットワークの一員に過ぎないと見なされ RI の中に埋没しました。以前の組織図は逆三角形型で一番下に RI 会長、次に

RI 理事、地域リーダー、ガバナー、地区委員会、そして一番上にロータリークラブでしたが、今はその逆で会長、CEO 事務総長がトップ、その下に理事、地域リーダー、ガバナー。一番下にロータリークラブということを言われています。現事務総長は 2011 年に就任し任期 5 年、再任ありで当分続くそうです。

② 各クラブが RI のネットワークの一員としての機能を果たせるように研修システムを強化しました。

③ 会員増強と資金集めが喫緊の課題

ちなみに RI 事務局員 800 名、(LC225 名)、事務総長の年収は 6800 万円だそうです。

RC 人頭分担金 70 ドル (今後値上げ予定)、LC43 ドル

④ 規定審議会は RI 方針の推進のための規則の整備をするための決議機関に堕ちる。RI 理事会は RI の方針の追認機関になっています。

RI の大きな変化

① 新しい組織方針 (DEI) 多様性・公平さ・インクルージョン

理由としては会員基盤強化、多様性、女性会員の増強と女性リーダーの育成のため。

多様性：ダイバーシティー、多様な人材が集まっている状態

公平さ：平等ではなくゴルフのハンディキャップのような考え方

インクルージョン：開放性 (包括・包含)、多様な人材が集まり、相互に機能している状態

② RI の新しい管理組織 (ロータリー未来形成)

SRF

ロータリーのヒエラルキー構造廃止・フラット化 (SRF の組織改革案はまだ不確定ではあるが、近い将来地区が廃止され、もっと大きな括り、フラット化)

③ グローバル会員制度

25 歳から 40 歳までの若い専門職や起業家をターゲットに (例えば、ロータリークラブに所属しないロータリー会員)

④ ローターアクトのロータリークラブ化

従来はロータリークラブの連合体が国際ロータリーでしたが、2019 年 7 月からはロータリークラブとローターアクトクラブの連合体になった (人頭分担金 8 ドル、会費は安いのに権利は一緒)

RI の変化のまとめ：ロータリーの会員減少→RI の方針、考えが地区ガバナー・地区運営に反映していない→SRF (組織管理改革)・DEI (誰でも入れよう) →理念なき会員増強→ロータリーの衰退に繋がる。

その後、戦略計画とクラブの活性化について話があり、その中でロータリークラブ自治権の危機について話をされました。クラブが地域社会に適した奉仕活動を選ぶ絶対的権限を持っており、RI はクラブが行っている活動を禁止したり、特定の活動をするように命令することはできないはず。今 RI 戦略計画は RI 独自のもので、それを地区、クラブへと連動させる近年の考え方はクラブの独自性、自主性を否定することに繋がり、RI を頂点とした組織機構のトップダウン構造を推進し、クラブ自治権の危機に繋がる。

クラブは RI から自立していなければなりません。「No」と言える立場を堅持しなければならない。クラブ運営の基本原則は、クラブ自治権の行使にある。自治権を最大限に活用して、地域に根を張ったクラブ管理運営を行うことから、クラブは活性化され魅力的なクラブの雰囲気が醸し出され、その結果「魅力的なロータリアンが集まり、さらにクラブも活性化される」ということでした。元気なクラブづくりは現状認識を踏まえてクラブのビジョンを磨くことから始まる。問題だらけの現状から理想のクラブ像にどうやって上げていくか、そのギャップを埋めるための例会や奉仕活動、あるいはクラブの魅力をつくるための自己研鑽・学習というものが必須ではないのかなど、これを創るのがクラブの戦略計画。などを説明されました。

その後、閉会セッションがあり 5 時少し前に終了しました。久しぶりに大規模な会議に参加しましたが、コロナは心配ですけど、やっぱりオンライン

より対面式のほうが良いと感じました。そして会員増強が喫緊の課題なのは、どこも一緒ながら、昔ながらのロータリークラブほど苦戦しているようなので、残念なことだと思います。

日本と海外の職業奉仕に対する考え方の相違、日本は職業奉仕活動を理念とし、海外は職業的奉仕プロジェクトによる実践としているところが、今後どうなっていくだろうかと思いました。アメリカでも昔ながらの考えの会員は退会して全体的に減少傾向にあり、逆に発展途上国では「金がない、そうだロータリーがある」といった考え方で会員が増えているようです。補助金目当ての入会も残念なことだと思います。

私としては、「入りて学び・出でて奉仕せよ」の精神のもと、ロータリー活動を続けていけたらと思いました。

波多野 好文会員

私は分科会では、都ホテル長良川漣ルームで行われた奉仕プロジェクト部門社会奉仕・国際奉仕委員会へ次年度社会奉仕委員長の波多野篤志さんと参加してきました。



まず最初、次期奉仕プロジェクト部門委員長の勝川生年さん、社会奉仕委員長の石田公司さんの挨拶があり、社会奉仕部門の分科会が始まりました。ロータリークラブは新しい奉仕事業を行う手助けである。

【社会奉仕は地域社会に軸足を】

- ① 公德心・愛郷心を育て、水準を高める社会教育的活動・・・各クラブが行ってきた奉仕活動のデータ収集と広報
- ② 地域の環境を守り、改善を促す環境保全活動
・・・全クラブへ植樹、車種調査アンケートの実施
- ③ 次世代を担う青少年に芸術・地域文化の経験の機会を付与
- ④ 要援助高齢者・障がい者・青少年への支援
- ⑤ 機会を通じて新たな奉仕プロジェクトを創出するよう促す
- ⑥ これらの奉仕活動の活性化を目指し、各クラブ

への出張卓話を積極的に推し進める。

【2022-23 行動計画】

- ① 2021 年度の訪問卓話は残念ながら新型コロナウイルスの流行が多くなり十分活動できませんでした。本年は年間 10 回程度の訪問卓話をめざします。
- ② 補助金プロジェクトの完了時、内容を地区のホームページに掲載するルールも定着しました。委員会では確実にフォローしていきます。
- ③ 環境関連アンケートの継続実施（植樹・乗用車調査）
- ④ 卓話は積極的に受け入れて、奉仕プロジェクトの実践を PR し新たな奉仕プロジェクトの創成を促す。

2021 年度実施の地区補助金プロジェクト 18 が記載されており、その中には関中央 RC の社会奉仕新型コロナウイルスと感染対策寄付事業（関商工高校へマスクを送る）もありました。この地区は、美濃 RC（社会奉仕・医療従事者への感謝弁当）関 RC（社会奉仕 青少年奉仕 関 RC 旗争奪 関市中学生野球大会）もあり、この地域は大変優秀だと思いました。その中で、3 つ程各 RC よりプロジェクトの説明がありました。

- ・鳥羽 RC 地域に貢献する人材育成を目指す鳥羽高校とキャリア支援を通じて地域を応援する。鳥羽 RC との共催による鳥羽高生の成果発表会開催及び（フード）パントリー開催
- ・加納 RC 文化継承プロジェクト
加納町づくり交流センターが出来るので、その中の展示物を作ってほしいとお願いされましたという事でした。そして何を作るか相談したら、加納地区のジオラマがいいという事で、見積りをとったら何千万もかかるということであきらめていたら鶯谷中高生にお願いしたらわずか 55 万円で立派なジオラマを作ってもらって大変中高生の教育にも役立ったという事でした。また、クラウドファンディングを利用してインターネットで募金を集めたところ 118 万円も集まったという事で、こういう事もまた有りかもしれないとの事でした。この事業は総額 478 万円ということで残金が出来

て町づくり交流センターに置くパンフレットのなものも最終的に作れたという事でした。

続いて国際奉仕委員会の分科会が次期委員長の太田正隆さんの挨拶の後、始まりました。

海外で助けを待つ人々に「奉仕」というかたちの「愛」を未来のために伝えられるよう支援します

WSC（世界社会奉仕）の補助金事業の名張中央RCから説明があり、その後グローバル補助金事業を使った美濃加茂RCとタイ国 3330 地区との共同プロジェクト母子の健康事業の説明が美濃加茂RCからありました。このタイ国 3330 地区は、以前 2019 年に三重県の津で地区大会を行ったときにRI 会長代理の人が来られた地区で、その時に事業が決まったそうです。内容としては、新生児の死亡率が高いタイ国の San Pran 病院へ肺換気装置等をおくったそうです。予算の総額は 68200 us \$ で、約 780 万円です。2 月 24 日にリモートにより贈呈式があったようです。この様にコロナ禍でも出来る事業があるという事でした。最後に加賀修PGの講評が有り、分科会が終わりました。

大藪 太会員

メインホールでの開会セッション、第1セッションに続き、第2セッションで分科会に分かれ、青少年奉仕分科会に参加しました。



青少年奉仕分科会ではローターアクト、青少年奉仕、青少年交換、インターアクトが発表を行いました。

<インターアクト委員会>

活動内容の紹介

インターアクトとは

- ・ロータリークラブによって提唱された 12~18 歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブである
- ・1962 年に米国で最初のクラブが設立され、日本においては 1963 年に宮城県の仙台育英学園高等学校で設立されました。インターナショナルの「インタ」とアクションの「アクト」に由来しています。
- ・インターアクトクラブは提唱クラブによる、指

導・助言・監督の責任のもとにロータリーの「超我の奉仕」を学び、友達と一緒に楽しみながら奉仕の精神と国際理解を身につけます。

- ・現在世界では約 140 カ国、34 万人の会員、15,000 クラブ以上のインターアクトクラブが活動しています。
- ・2630 地区では 34 校のインターアクトクラブを 31 の提唱クラブで活動しています。

インターアクトの目標

- ・建設的な指導力を養成し、自己の完成を図る
- ・他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えの奨励と実践
- ・家庭と家族の重要性の認識と涵養
- ・各自の責任を果たし、懸命に努力する
- ・全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を自覚する
- ・地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める
- ・国際理解と親善の推進を行う
- ・学校や地元地域でボランティア活動をする
- ・異文化について学び、国際親善に貢献する
- ・学校や地元地域でリーダーシップを発揮する
- ・楽しみながら世界中に友達をつくる

インターアクトとスポンサークラブとの関わり

- ・提唱ロータリークラブの責務は、協力で効果的なクラブ運営に当たり、クラブ会員一人一人が進行中の IA 活動を理解し、必要に応じて助言しなければならない
- ・毎年少なくとも 1 度はロータリーと IA の合同奉仕プロジェクトを実施する
- ・IA クラブのプロジェクトを指揮、支援することによって、IA クラブが積極的な奉仕プログラムを遂行できるように力を貸すこと
- ・IA クラブに、クラブ会報を発行するよう奨励すること
- ・IA クラブの業績を表彰する方法をいくつか開発すること。ロータリークラブの会合で特別賞を贈呈したり、表彰式を行っても良い
- ・会員増強の指針を提供すること。そうすれば新会員を集め、同時に現会員を年齢上限に達するまで

止めておくことが出来る

- ・インターアクターが年度末に新会員を選ぶようにすること。そして IA の年齢を超えた後、参加しても良い他のロータリープログラム（青少年交換、国際親善奨学金、ローターアクト）のことを知らせること
- ・経済的支援は責務ではありません。しかし IA クラブの円滑的な活動と運営に於いて、経済的支援とそれ以上のものをする必要がある
- ・顧問ロータリアンは、学校を基盤とするクラブの会合に時折出席し、顧問教官と親密に協力することが望まれる。

2630 地区年間活動予定

- ・5月8日 教師部会
- ・5月22日 韓国派遣学生面接（中止）
- ・6月12日～7月10日 オリエンテーション 3回（中止）
- ・7月23日～27日 韓国派遣 第3600地区IA年次大会（中止）
- ・7月28日～8月1日 韓国派遣団受け入れ（中止）
- ・7月31日 2630地区IA年次大会 大垣商業高校・大垣西RC
- ・8月28日 韓国派遣学生帰国報告会（中止）
- ・未定 三重県協議会 亀山高等学校 亀山RC
- ・12月3日 中・東濃地区協議会 土岐商業高等学校 土岐RC
- ・未定 岐阜・大垣地区協議会 岐阜工業高等学校 岐阜東南RC
- ・未定 飛騨地区協議会 益田清風高等学校 下呂RC・高山中央RC

インターアクト委員会からのお願い

スポンサークラブ会長へ

- ・新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍の状況により、2年間ほど活動が滞っているように感じます。IA員数の減少傾向もうかがわれます。今一度高校へ出向いて頂き、学校だけに活動を任せるのではなく、ともに活動をして頂きますようお願いいたします
- ・高校生インターアクターの活動しやすい環境のた

めには、ロータリアンと顧問教師との相互理解が必要です。学校の4月の新学期の始まりと、7月のRC年度の始まりには学校への表敬訪問をして頂きますようお願いいたします。また合同例会や合同奉仕事業などを通しての校長先生、顧問教師、インターアクターとの交流をお願いします

***出席委員会**

会員数30名、本日の出席16名です。

***ニコボックス委員会**

- ・会長・副会長、幹事
本日のプログラム、地区研修・協議会報告の報告者の皆様、本日はよろしくお願ひ致します。
16名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第2064回 2022年5月12日（木）

卓話 社会保険労務士法人 まごころ
代表社員 鈴木 かおり様

テーマ 「心の経営」

担当 ニコボックス委員会